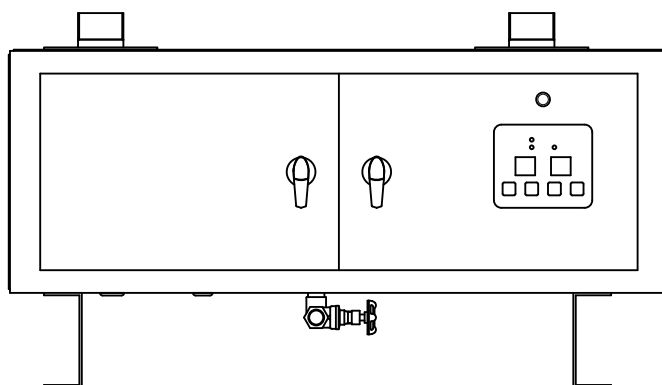


工事要領、取扱説明書

製品名：電気昇温器

型 式：EIL(1)



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
EILについて	5
各部の名称と本体寸法	5
電子サーモスタット	7
仕様一覧	7
工事要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
施工する	11
1. 設置工事	11
2. 配管工事	12
3. 電気工事	14
4. 漏電ブレーカの動作確認	15
5. 試運転	16
6. 施工後の確認	19
取扱説明	20
使用方法	21
1. 使用前の準備と確認	21
2. お湯の温度を調整する	22
3. 表示灯について	22
長期間使用しないときは(排水の方法)	23
お手入れの方法	24
保守点検項目と実施の目安	24
逃し弁の動作確認(密閉配管に接続した場合のみ)	25
外装の清掃	26
こんなときは	27
エラー表示	28
アフターサービス	29
消耗品の定期交換について	29
補修用性能部品について	29
メンテナンス契約について	29
修理をご依頼の際には	29

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。」



注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。」



△の記号は、注意(警告を含む)を払う必要のある事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

警告



アース (D 種接地) 工事を確認してください。
アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。



電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。
火災の原因となります。

必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。
故障のまま使用すると漏電発生時に感電するおそれがあります。

結線部は正しく、ゆるみがないように配線作業をしてください。
発火、感電の原因となります。

密閉配管に接続する場合は給湯側の配管途中に必ず逃し弁 (0.1MPa 以下) を取り付け、動作を確認してください。
万一の不動作で、昇温器の破裂のおそれがあります。

本体は必ず水平に設置してください。
破裂、故障の原因となります。



屋外に設置しないでください。(屋外設置型を除く)
感電、故障の原因となります。

設置時および点検時以外は前面扉を開けないでください。
感電、やけどのおそれがあります。

前面扉を開けて点検する際は、充電部に触れないでください。
感電、やけどのおそれがあります。

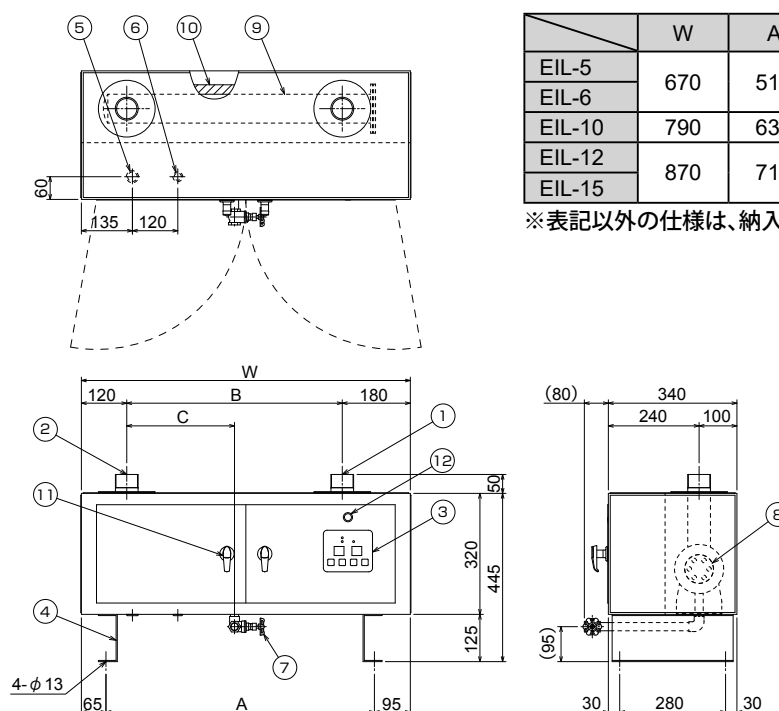
本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。
発火のおそれがあります。

⚠警告	
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。
	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

⚠注意	
	本体および配管に乗ったり、体重を掛けたり、物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によって配管内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。 落下の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	既定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想されるところでは凍結防止処置を施してください。 水管や配管が破裂してやけどをするおそれがあります。

EILは浴室内の適温管理、暖房の温水供給、温水器やストレージタンクの昇温など各種施設の温水管理が簡単にできる省力設備です。

EIL5 ~ 15

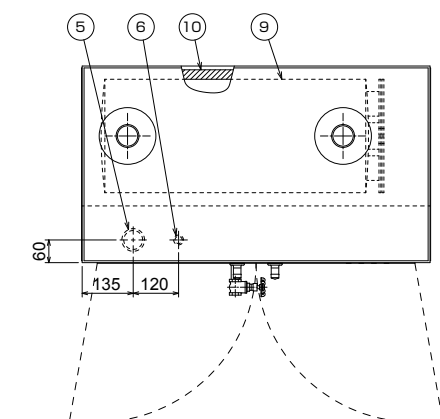


	W	A	B	C
EIL-5	670	510	370	185
EIL-6				
EIL-10	790	630	490	245
EIL-12	870	710	570	285
EIL-15				

※表記以外の仕様は、納入図面をご確認ください。

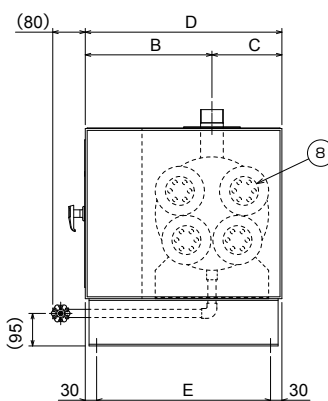
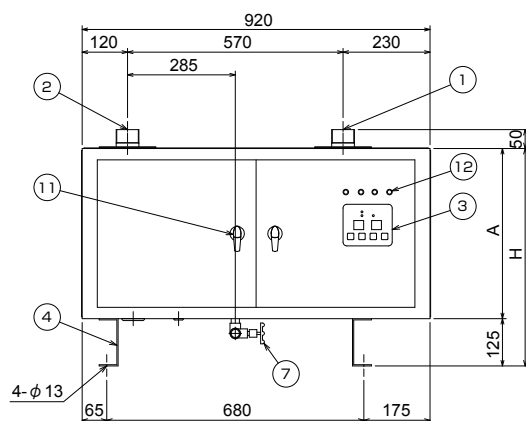
No.	名称	備考
①	循環入口 R2(50A)	循環水の入口です。
②	循環出口 R2(50A)	循環水の出口です。
③	電子サーモ	タンク内の温度を表示したり、沸かし上げ温度の設定などを行ないます。
④	脚部	アンカーボルト等でしっかりと固定してください。
⑤	電源引込口	電源線の引込口です。
⑥	接続線引込口	端子台に配線する際の電線引込口です。
⑦	排水弁 Rc1/2(15A)	メンテナンスや清掃のときに使用します。
⑧	ヒーター	水を加熱します。
⑨	水管	高耐食ステンレスを使用しています。
⑩	保温材	タンクからの放熱をおさえます。
⑪	ハンドル	鍵付(No.200)
⑫	通電表示灯(赤色)	ヒーター通電中に点灯します。

EIL20 ~ 60



	D	H	A	B	C	E
EIL-20	460	515	390	305	155	400
EIL-25						
EIL-30						
EIL-35	500	545	420	325	175	440
EIL-40						
EIL-45						
EIL-50	520	575	450	335	185	460
EIL-55						
EIL-60						

※表記以外の仕様は、納入図面をご確認ください。

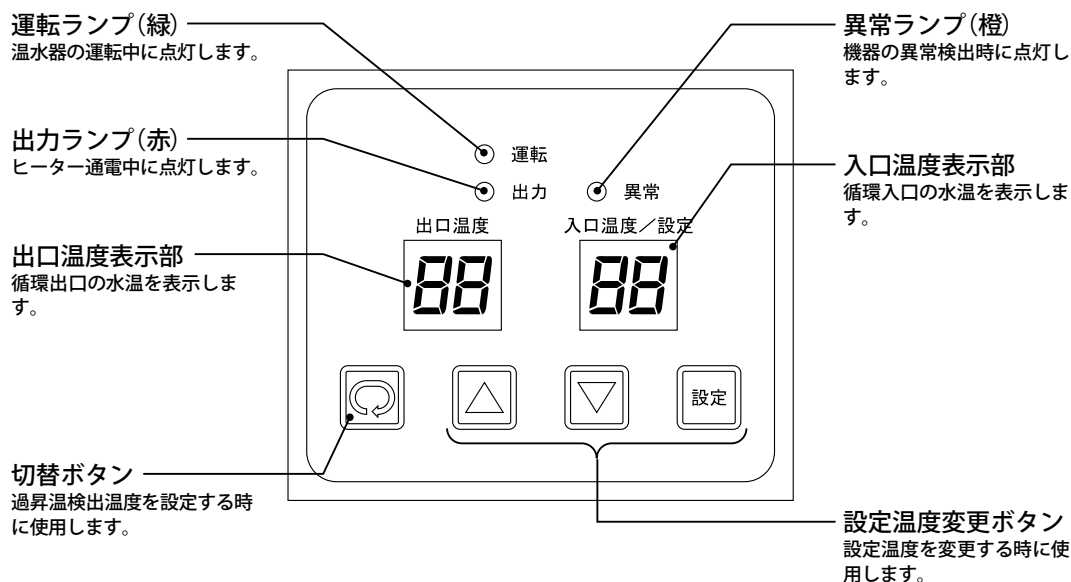


No.	名称	備考
①	循環入口 R2 (50A)	循環水の入口です。
②	循環出口 R2 (50A)	循環水の出口です。
③	電子サーモ	タンク内の温度を表示したり、沸かし上げ温度の設定などを行います。
④	脚部	アンカーボルト等でしっかりと固定してください。
⑤	電源引込口	電源線の引込口です。
⑥	接続線引込口	端子台に配線する際の電線引込口です。
⑦	排水弁 Rc1/2 (15A)	メンテナンスや清掃のときに使用します。
⑧	ヒーター	水を加熱します。
⑨	タンク	高耐食ステンレスを使用しています。
⑩	保温材	タンクからの放熱をおさえます。
⑪	ハンドル	鍵付 (No.200)
⑫	通電表示灯 (赤色)	ヒーター通電中に点灯します。

共通項目

EILについて

電子サーモスタット



仕様一覧

		EIL(1) -5	EIL(1) -6	EIL(1) -10	EIL(1) -12	EIL(1) -15	EIL(1) -20	EIL(1) -25	EIL(1) -30	EIL(1) -35	EIL(1) -40	EIL(1) -45	EIL(1) -50	EIL(1) -55	EIL(1) -60
定格	電圧	三相 200V													
	周波数	50/60Hz													
	消費電力(kW)	5	6	10.1	12	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
設定温度範囲		0 ～ 80℃													
製品質量(kg)		28.0		30.0		32.0		70.0			85.0			90.0	
満水質量(kg)		30.7		33.0		35.4		100.0			127.5			140.0	
使用 条件	使用雰囲気温度	0 ～ 40℃(凍結しないこと)													
	一次側使用水温	75℃以下(凍結しないこと)													
	最高使用圧力	0.1MPa													
	設置場所	屋内													
安全装置		漏電検出、空焚き検出、過昇温検出													

※表記以外の仕様は、納入図面をご確認ください。

工事要領

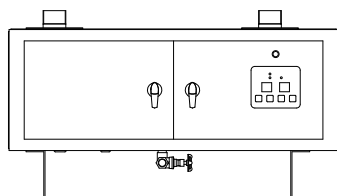
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

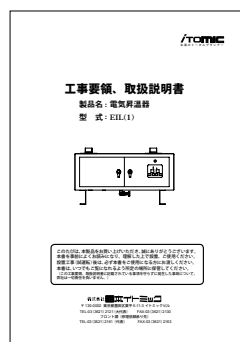
【製品に同梱されています】

EIL 本体



→各型番の違いはP.7 参照

付属品



鍵× 1
(No.200)

工事要領、取扱説明書× 1
(この冊子です。当冊子は工事終了後、
ご使用になられる方へお渡しください。)

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品 (→ P.13『標準配管図』参照)

- ①給水、給湯配管・・・・・・・・ 昇温器を接続するため必要です。
- ②ユニオン・・・・・・・・ メンテナンスの際に昇温器、逃し弁を取り外せるよう施工するために必要です。
- ③シールテープ・・・・・・・・ 配管接続部分から漏水させないために必要です。
- ④逆止弁・・・・・・・・ 湯水の逆流を防止します。
- ⑤ストレーナー・・・・・・・・ 昇温器内へのゴミの流入を防止します。
- ⑥止水栓・・・・・・・・ 流量の調節やメンテナンス等の際に給水を止めるため必要です。
- ⑦漏電ブレーカ・・・・・・・・ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ⑧アンカーボルト・・・・・・・・ 昇温器を床面に固定する際に必要です。

上記手配品は必ずご用意ください。

- ⑨減圧弁・・・・・・・・ 給水圧力が0.1MPa以上の場合は必ず取り付けてください。

上記手配品は設置状況に応じてご用意ください。

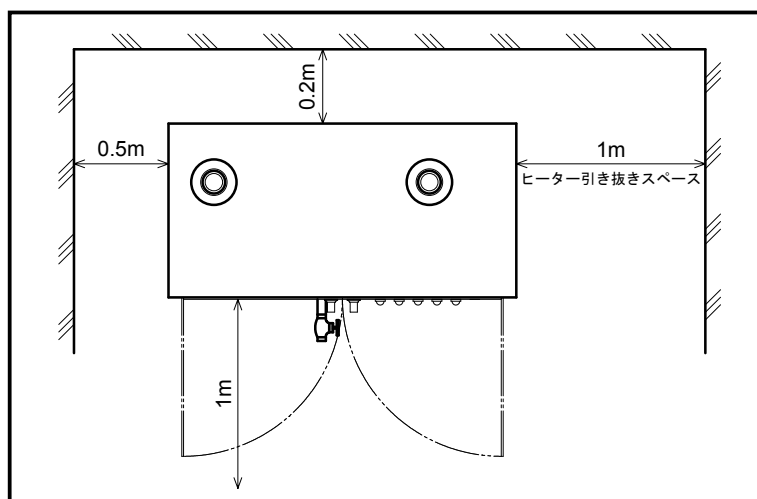
2. 設置場所の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのためのスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に作業することができません。	☐
電圧	定格電圧の± 10 % 以内ですか？ 火災の原因となりますので、必ず上記範囲内の電圧であることを確認してください。	☐
取付床面	水平な床面ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	本体質量に耐えられる床面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
電源の有無	三相 200Vの電源が引込める位置にありますか？ 無い場合は取り付けや増設が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1MPa以下になっていますか？ 昇温器が正しく動作しませんので、必ず上記の給水圧力があることを確認してください。0.1MPaを越える場合は減圧弁を設け、調整を行ってください。	☐

EILのメンテナンススペース

下図のようにメンテナンス用のスペースを設けて設置してください。



施工する

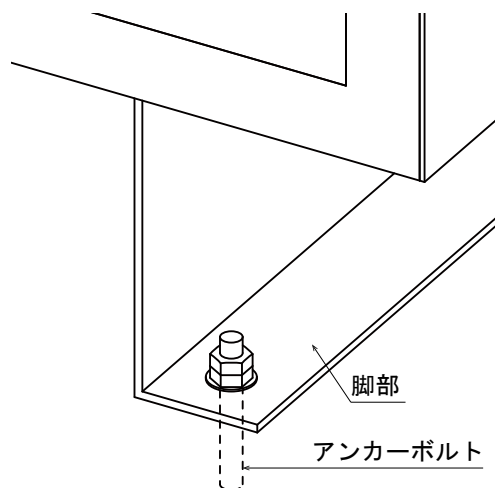
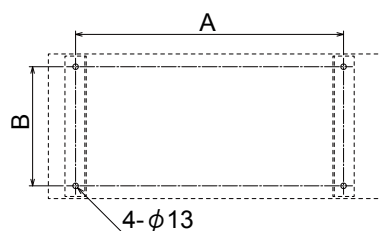
1. 設置工事

⚠警告	
❗	本体は必ず水平に設置してください。 破裂、故障の原因となります。
🚫	屋外に設置しないでください。 感電や故障の原因となります。
🚫	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

⚠注意	
❗	満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。 落下の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

設置工事時の注意とお願い

- メンテナンススペースを確保し設置してください。
- アンカーボルトにより、すべての脚部を固定してください。
- 締め付けナットにはゆるみ防止対策を施してください。
- 固定用穴位置は下表を参照してください。



	EIL(1) -5	EIL(1) -6	EIL(1) -10	EIL(1) -12	EIL(1) -15	EIL(1) -20	EIL(1) -25	EIL(1) -30	EIL(1) -35	EIL(1) -40	EIL(1) -45	EIL(1) -50	EIL(1) -55	EIL(1) -60
A	510	630	710	680										
B	280					400			440			460		

※表記以外の仕様は、納入図面をご確認ください。

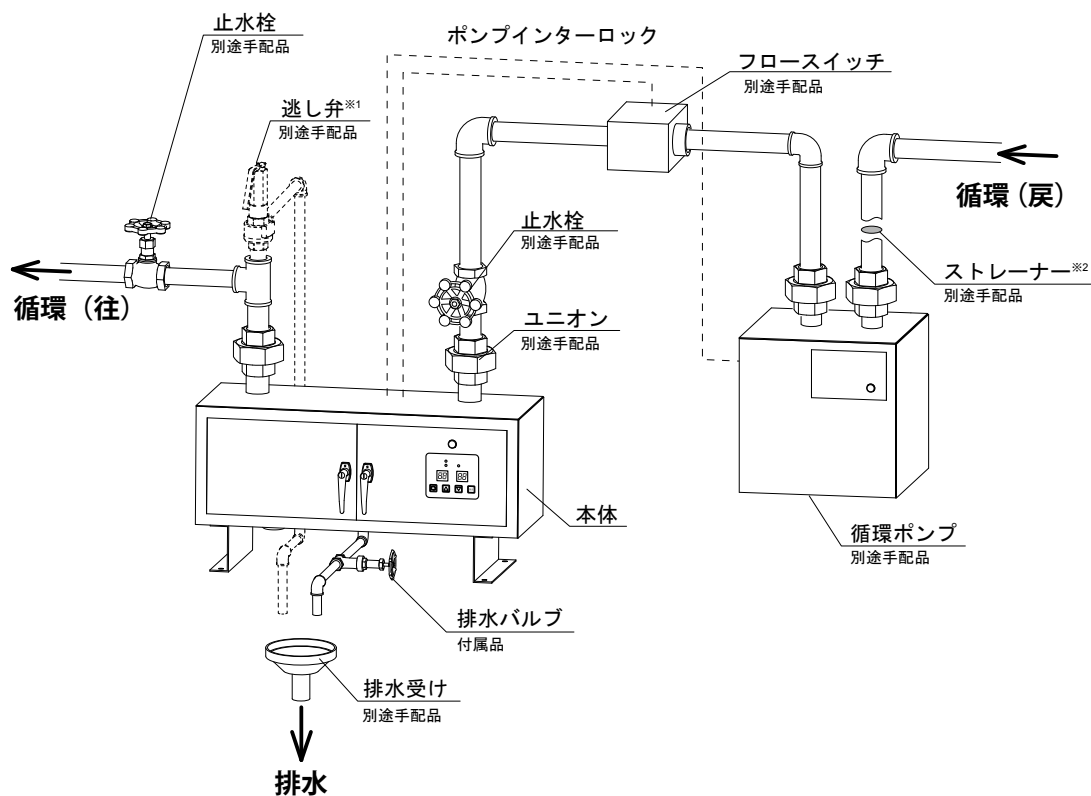
2. 配管工事

⚠警告	
❗	密閉配管に接続する場合は給湯側の配管途中に必ず逃し弁（0.1MPa 以下）を取り付け、動作を確認してください。 万一の不動作で、昇温器の破裂のおそれがあります。
⊘	給湯配管は鳥居配管しないでください。 破裂、故障の原因となります。

⚠注意	
⊘	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
❗	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	既定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想されるところでは凍結防止処置を施してください。 水管や配管が破裂してやけどをするおそれがあります。

- ①給水一次側にお客様手配品の逆止弁、ストレーナー、止水栓、袋ナットもしくはユニオンを必ず取り付けてください。
- ②密閉配管に接続する場合は給湯側に逃し弁(0.1MPa 以下)を必ず取り付け、その先には逃し配管を設置して間接排水を行ってください。また、給湯配管にはユニオンを取り付けてください。

標準配管図



※ 1：密閉配管に接続する場合は給湯側に逃し弁(0.1MPa以下)を必ず取り付けてください。

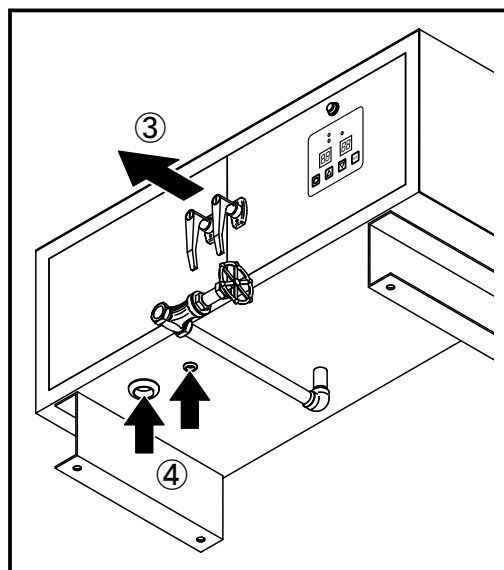
※ 2：ストレーナーは循環ポンプ手前の任意の位置に取り付けてください。

3. 電気工事

⚠ 警告	
	アース（D 種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 故障のまま使用すると漏電発生時に感電するおそれがあります。
	結線部は正しく、ゆるみがないように配線作業をしてください。 発火、感電の原因となります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。
	前面扉を開けて点検する際は、充電部に触れないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。

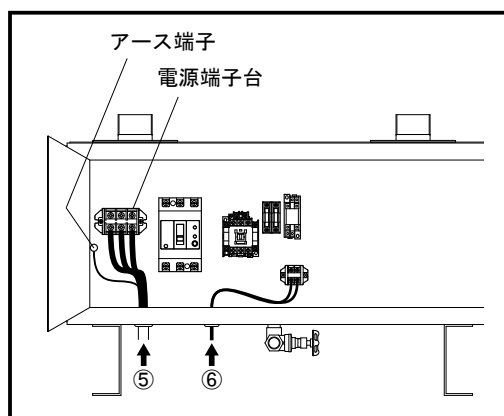
配線する

- ①一次側の電源がOFFになっている事を確認してください。
- ②昇温器の漏電ブレーカがOFFになっている事を確認してください。
- ③前面扉を開けてください。
- ④膜付グロメットの膜に切り込みを入れてください。



- ⑤電源コードを通して右図のように電源端子台に接続してください。
 - ⑥ポンプインターロック用配線を補助端子台に接続してください。
- その他信号線がある場合も、各端子へそれぞれ接続してください。

※実際の部品配置とは異なる場合があります。
詳細は納入図面をご確認ください。



4. 漏電ブレーカの動作確認

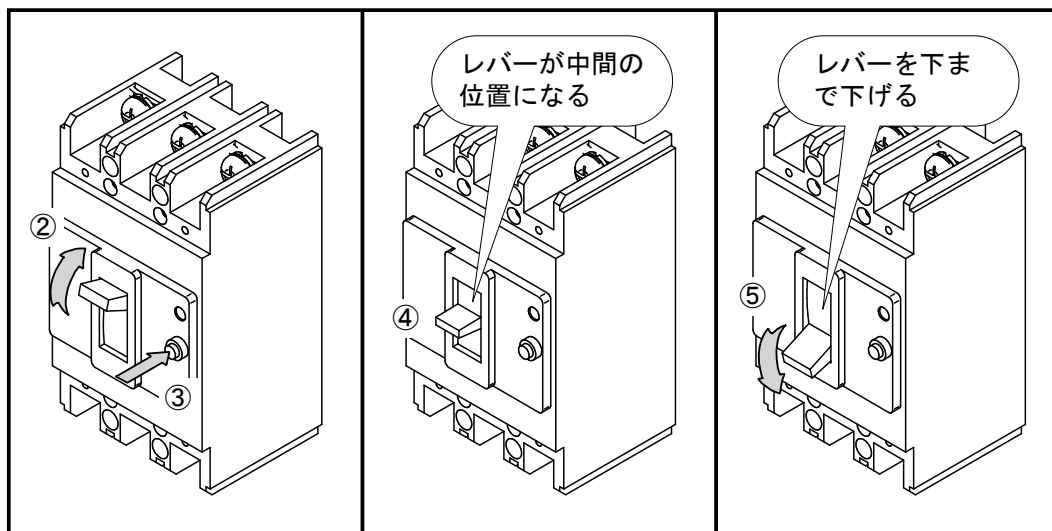
⚠ 警告	
❗	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 故障のまま使用すると漏電発生時に感電するおそれがあります。
⊘	前面扉を開けて点検する際は、充電部に触れないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
🚫	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。

- ① 一次側の電源をONにしてください。
- ② EIL 本体の漏電ブレーカをONにしてください。
- ③ テストボタンを押してください。
- ④ 漏電ブレーカがトリップ状態(レバーが中間の位置)になることを確認してください。

下図のとおり動作すれば漏電ブレーカは正常です。

- ⑤ 漏電ブレーカのレバーを完全に下げOFFにしてください。

※レバーを完全に下げないと、再びONにすることが出来ません。

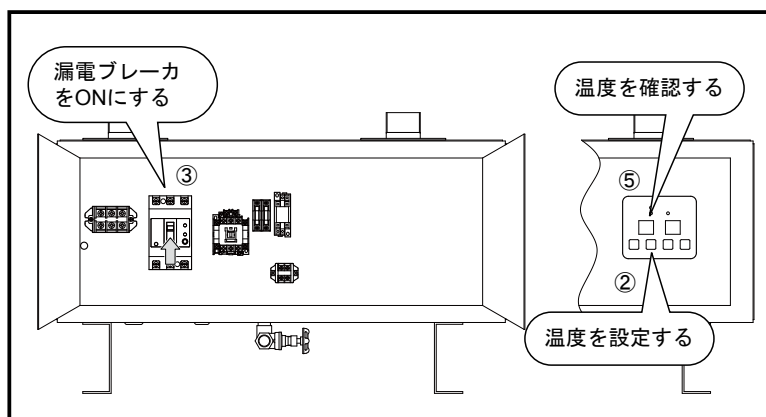


5. 試運転

⚠警告	
⊘	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
⊘	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

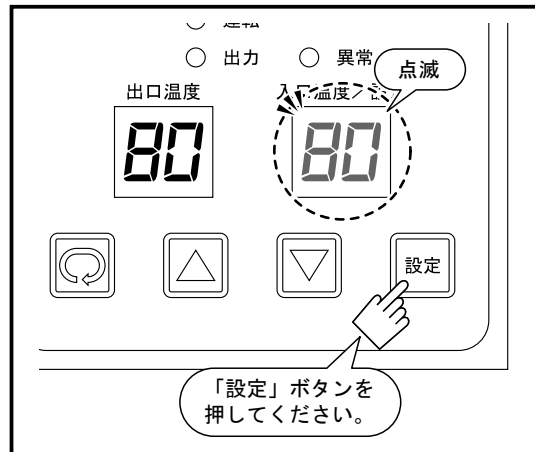
⚠注意	
⊘	本体および配管に乗ったり、体重を掛けたり、物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
!	既定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。

- ① EILに給水してください。
- ② 電子サーモを操作し、沸かし上げ温度を設定してください。(P.17 参照)
- ③ 漏電ブレーカをONにしてください。
- ④ 循環ポンプをONにし、配管部に漏水がないか確認してください。
- ⑤ 電子サーモで温度が上昇していることを確認してください。

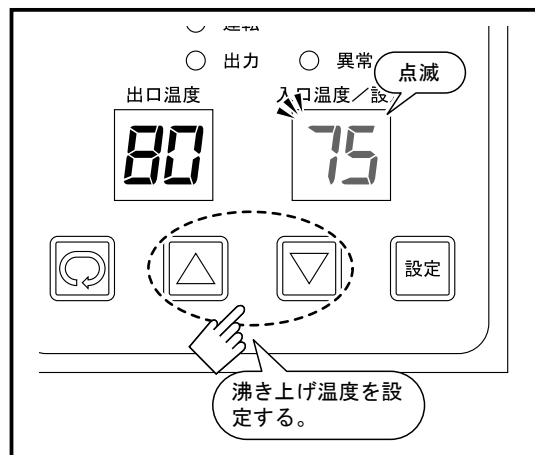


沸き上げ温度の設定・設定温度の確認 (工場出荷時設定: 80℃)

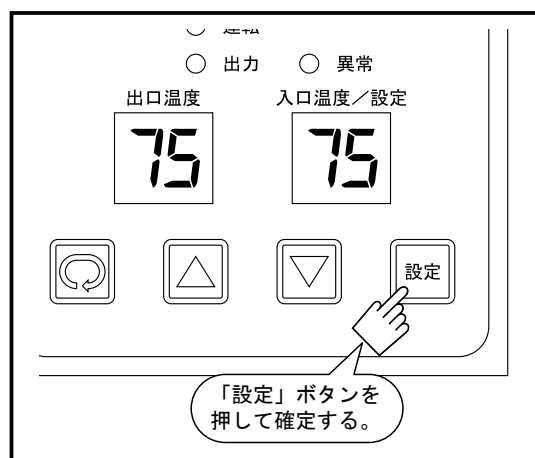
- ①「設定」ボタンを押してください。
 右側の液晶表示が点滅し、沸き上げ温度設定モードになります。
 このとき点滅している数値が現在の設定温度です。



- ②「△」「▽」ボタンを操作して希望する沸き上げ温度を設定してください。
 ・「△」ボタンを1回押すと+1℃(1秒以上の長押しで+10℃)、「▽」ボタンを押すと-1℃(1秒以上の長押しで-10℃)されます。



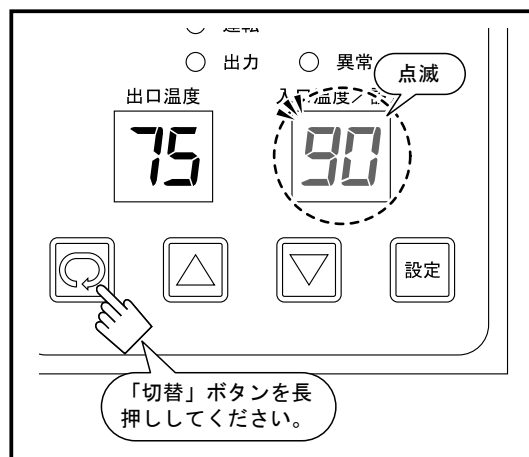
- ③設定したい温度になったら再度「設定」ボタンを押して設定完了です。
 ※ボタン操作をせずに10秒経過すると設定完了となりますのでご注意ください。



過昇温検出温度の設定 (工場出荷時設定: 90℃)

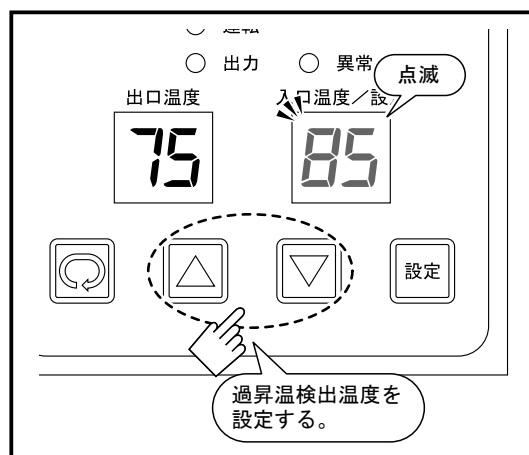
◎過昇温検出温度は沸き上げ温度より10℃高い温度に設定してください。

- ①「切替」ボタンを3秒以上長押ししてください。
右側の液晶表示が点滅し、過昇温検出温度設定モードになります。



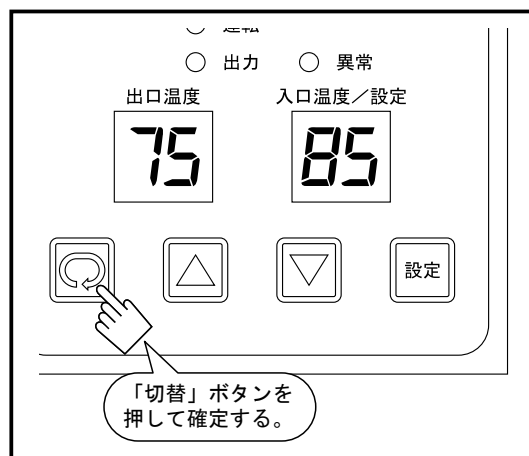
- ②「△」「▽」ボタンを操作して過昇温検出温度を設定してください。

- ・「△」ボタンを1回押すと+1℃ (1秒以上の長押しで+10℃)、「▽」ボタンを押すと-1℃ (1秒以上の長押しで-10℃) されます。



- ③設定したい温度になったら再度「切替」ボタンを押して設定完了です。

※ボタン操作をせずに10秒経過すると設定完了となりますのでご注意ください。



6. 施工後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
漏 水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
電 圧	定格電圧(三相 200V) ± 10% 以内ですか？	☐
ヒーター 絶縁抵抗	1MΩ以上ありますか？	☐
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？	☐
逃し弁	給湯側に設置されていますか？また吹き出していませんか？ (密閉配管に接続した場合)	☐
給 湯	循環ポンプが作動すると水温が上昇しますか？	☐

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

⚠警告	
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

⚠注意	
	本体および配管に乗ったり、体重を掛けたり、物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によって配管内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	既定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。

1. 使用前の準備と確認

チェックリスト

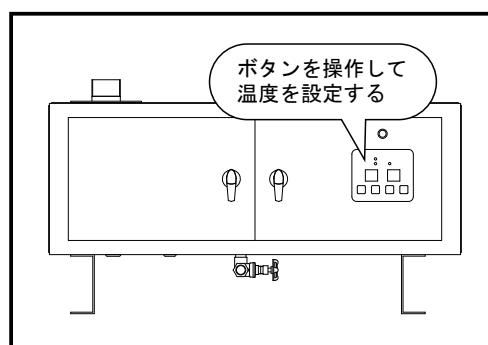
項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物はないですか？	☐
	本体の上には物などを乗せていませんか？	☐
	逃し弁が吹き出ていませんか？ (密閉配管に接続した場合)	☐

2. お湯の温度を調整する

⚠ 警告	
	運転中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

- ①電子サーモを操作し、沸かし上げ温度を設定してください。(設定可能範囲は0～80℃です。)
沸き上げ温度の設定方法はP.17 参照。

※給水温度以下の湯温では出湯できません。



3. 表示灯について

【表示灯】

通電表示灯(赤色)・・・ヒーター通電(沸し上げ)中に点灯します。

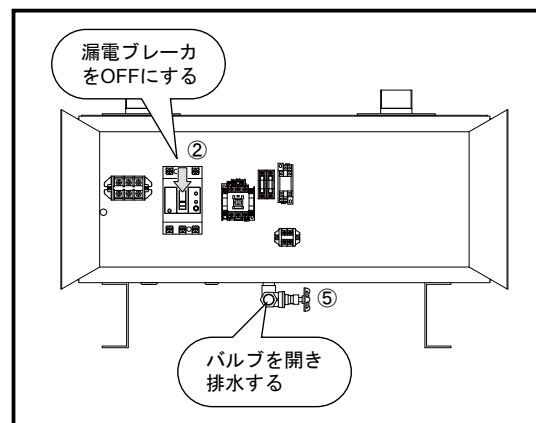
長期間使用しないときは(排水の方法)

⚠警告	
	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	運転中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

長期間ご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

- ①循環ポンプをOFFにします。
- ②一次側電源およびEIL本体の漏電ブレーカをOFFにします。
- ③循環(往・戻)の止水栓を閉めてください。
- ④逃し弁レバーを上げてください。
※密閉配管に接続した場合のみ
- ⑤排水バルブを開き、タンク内の水を排水してください。
※負圧防止のため、逃し弁等から空気を入れて排水してください。



お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

⚠警告	
!	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 故障のまま使用すると漏電発生時に感電するおそれがあります。
	密閉配管に接続する場合は給湯側の配管途中に必ず逃し弁（0.1MPa 以下）を取り付け、動作を確認してください。 万一の不動作で、昇温器の破裂のおそれがあります。
⊘	前面扉を開けて点検する際は、充電部に触れないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
⊘	濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	運転中とその直後は高温になっていますので、配管部分に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

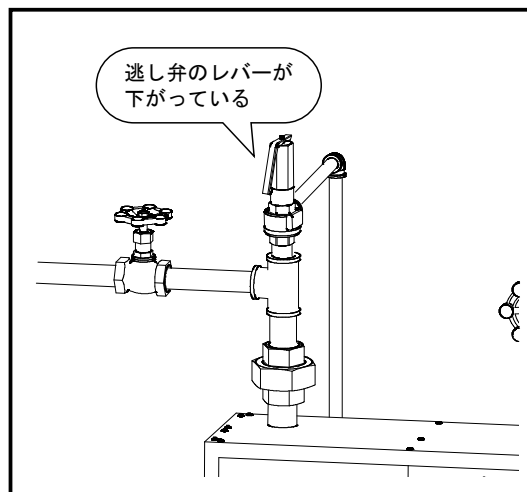
点 検 項 目	点 検 内 容	点検の目安
管理技術者の方のみ 電圧の測定	定格電圧の± 10 %の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はヒーター断線の原因となります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回／月
管理技術者の方のみ 電流値の測定	定格電流の± 10 %の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ ヒーター絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計（DC500V メガー）にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。 ※破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。	
重 要 逃し弁の動作確認	逃し管から常時水が出ていないか確認してください。（P.25『逃し弁の動作確認』参照） ※密閉配管に接続した場合	
管理技術者の方のみ 漏電ブレーカの動作確認	P.15『漏電ブレーカの動作確認』を参照し、動作を確認してください。正常動作が確認できなかった場合は、裏表紙に記載の弊社サービス受付課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。	
漏水全般について の点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日

逃し弁の動作確認(密閉配管に接続した場合のみ)

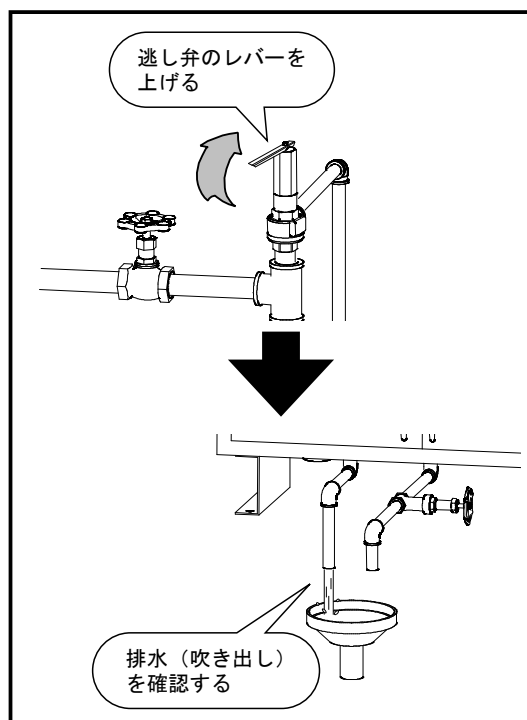
⚠ 警告	
❗	密閉配管に接続する場合は給湯側の配管途中に必ず逃し弁 (0.1MPa 以下) を取り付け、動作を確認してください。 万一の不動作で、昇温器の破裂のおそれがあります。
🚫	逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。

逃し弁が作動しなくなると機器内部配管などの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。

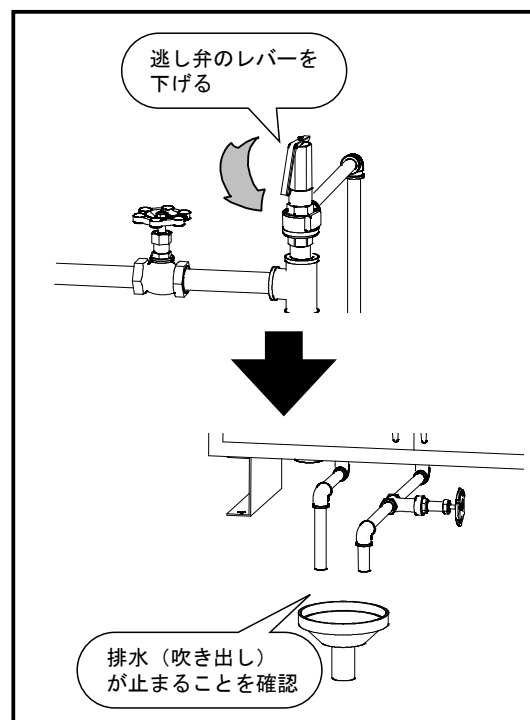
- ① 逃し弁テストレバーが下がっていることを確認してください。



- ② 逃し弁テストレバーを上げ、排水(吹き出し)を確認してください。正常に排水しない場合は故障ですので、弊社サービス受付課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。



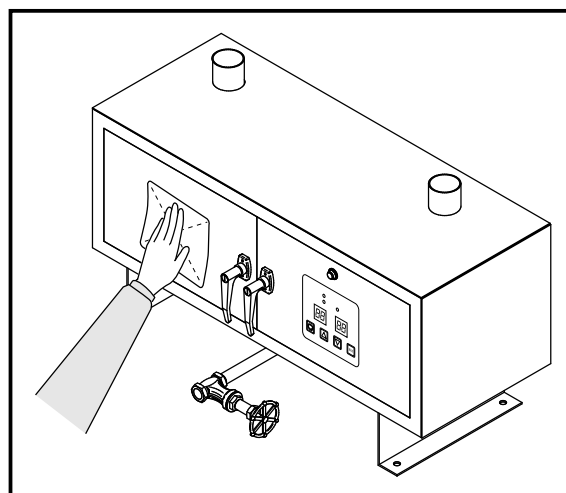
- ③排水が確認できたら必ず逃し弁テストレバーを下げて排水が止まることを確認してください。(レバーを上げたままの場合、逃し弁から水が排出され続けてしまいます。)



逃し弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。そのようなときは逃し弁レバーを上げて、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください。

外装の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

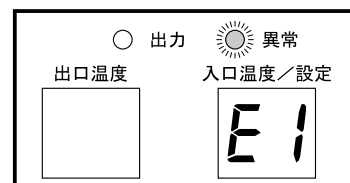
機器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前に下表をご確認ください。

状況	ご確認ください	考えられる原因／対処方法
水もお湯も出ない または 出が悪い	断水ではありませんか？	断水 水道局へお問い合わせください。断水中は使用できませんので、断水が終了するまでお待ちください。 断水が終了した後、お湯が濁っているような場合には濁りがなくなるまで出し続けてください。
	止水栓は開いていますか？	止水栓が閉じている 閉じている場合は開いてください。
	配管に取り付けられているストレーナーが詰まっていますか？	ストレーナーの詰まり ストレーナーの清掃を行ってください。清掃に関しては管理技術者の方にお問い合わせください。
	給水圧力が低すぎませんか？	給水圧力が低い 管理技術者の方へご相談ください。
	配管が凍結していませんか？	配管が凍結している 配管内が凍結すると昇温器が作動しません。凍結防止処置については管理技術者の方へご相談ください。
お湯の温度が上昇しない または お湯が沸かない（水のまま）	昇温器の漏電ブレーカがトリップ状態（レバーが中間の位置）になっている	漏電 ただちに使用を中止し、弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで至急ご連絡ください。 ヒータ断線、もしくは制御部品などの異常 弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで至急ご連絡ください。
	一次側電源がOFFになっていませんか？	一次側電源がOFFになっている ONにしてください。
	本体の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	本体の漏電ブレーカがOFFになっている ONにしてください。
	停電ではありませんか？	停電 電気の復旧をお待ちください。
	配管は正しく行われていますか？	施工不備 管理技術者の方に確認をご依頼ください。
熱すぎる または お湯がぬるい	電子サーモの設定温度は適切ですか？	電子サーモの設定温度が不適切 P.17「沸き上げ温度を設定する」を参照し、沸かし上げ温度を設定してください。改善しない場合は管理技術者の方へご相談いただくか、弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで至急ご連絡ください。
汚れたお湯が出る	断水や水道工事が行われていませんか？	断水や水道工事による汚れ 濁りがなくなるまで出し続けてください。
	配管が腐食していませんか？	配管のサビ等による赤水 管理技術者の方へご相談ください。
漏水している	本体からですか？	施工不備や本体の不具合 すぐに止水栓を閉めて一次側電源および昇温器の漏電ブレーカをOFFにし、弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで至急ご連絡ください。
	配管接続部からですか？	施工不備 各配管接続部を締め直してください。

エラー表示

機器の異常を検出すると、異常ランプが点灯し右側の液晶表示にエラー番号が表示されます。
(複数の異常を検出した場合には、1秒ごとに検出したエラー番号を表示します。)

異常発生時には下表を参照し、対処してください。



＜エラー表示例＞

エラー表示	異常内容	原因と対処方法
E1	温度異常	温度設定誤り →過昇温検出温度の設定が沸き上げ温度より低く設定されている可能性があります。P.18『過昇温検出温度の設定』を参照し、設定し直してください。
		過昇温検出 →弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。
E2	水位異常	空焚き検出 →機器に給水してください。
E3	低流量異常	流量不足 →流量が不足している可能性があります。止水栓の開度や、ストレーナー・配管等につまりがないかを確認してください。
E4	温度センサ 1 断線	温度センサの断線、短絡 →該当部品の交換が必要な場合があります。弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。
E5	温度センサ 1 短絡	
E6	温度センサ 2 断線	
E7	温度センサ 2 短絡	
E8	機器設定異常	マイコンの故障 →弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。

上記以外の不具合や、上記の対処を行っても改善されない場合は弊社サービス受付課、または最寄りの営業所もしくは地区販売会社までご連絡ください。

アフターサービス

消耗品の定期交換について

下表に記載する部品は故障時に交換が可能な消耗部品です。劣化による動作不良などが起きた際に、弊社アフターサービススタッフにて交換を推奨している部品となります。
(機器内部は精密となっており、お客様ご自身での交換はできません。)

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
ヒーター	設置、交換日より 2～5年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したものの。)

※使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.30の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体同梱の保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

/atomic 保証票	
機種名	
型番	
最低使用流量	L/min
最高使用圧力	MPa
貯湯量	L
満水質量	kg
電源・電力	50/60Hz
伝熱面積	m ²
製造番号	
製造年月	年 月
保証期間	納入後3年間
株式会社 日本イトミック 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー24階	

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45～17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03 (3621) 2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。当ページの故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(裏表紙に記載)

故障状況シート

貴 社 名		ご 担 当 者 名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製 品 型 番	EIL(1)-		
電 源、電 力		製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状 態			

MEMO

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （1）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （2）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （3）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （4）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （5）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （6）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （7）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （8）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （9）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - （12）火災・爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様で自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部 TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 TEL : 011 (615) 6681
北海道営業所 FAX : 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 TEL : 022 (357) 0848
東北営業所 FAX : 022 (357) 0847
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 TEL : 03 (3621) 2121
(株)日本イトミック 本社 FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 TEL : 052 (222) 2561
中部営業所 FAX : 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 TEL : 06 (7177) 4949
関西営業所 FAX : 06 (7177) 4948
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 TEL : 082 (240) 1361
中国営業所 FAX : 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 TEL : 092 (481) 3911
九州営業所 FAX : 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。